

## 国内雑誌

- 1) 重度パーキンソン病患者に対する理学療法とその効果について（屋内生活自立まで至った一症例を通して）  
鈴木俊明、松本光晴、橋本靖子、内藤恵子  
理療 18（2）、136-138、1988
- 2) 正常人における安静時F波の基礎的研究  
鈴木俊明、武田 功、藤原哲司  
運動生理 4（1）、17-20、1989
- 3) Biodex machine を用いた膝屈伸筋の筋出力について  
武田 功、鈴木俊明  
京都大学医療技術短期大学部紀要 9、22-27、1989
- 4) 健常者におけるF波の特性（等尺性収縮時および安静時における比較）  
鈴木俊明、武田 功、藤原哲司  
理学療法ジャーナル 24（1）、49-52、1990
- 5) ギランバレー症候群に対する神経発達学的治療と機能的電気刺激の併用  
鈴木俊明、武田 功、藤原哲司  
理学療法 7（6）、413-417、1990
- 6) 等尺性収縮度の変化および対側等尺性収縮におけるF波の検討  
鈴木俊明、武田 功、藤原哲司  
理学療法ジャーナル 25（2）、125-128、1991
- 7) 等尺性収縮における疲労度の測定  
武田 功、鈴木俊明、藤原哲司  
理学療法学 18（4）、429-434、1991
- 8) 近畿北部地区におけるスモン検診 - 3年間のまとめ -  
藤原哲司、斎田恭子、中島正夫、高橋桂一、藤岡 宏、井上静子  
相井平八郎、瀬古 敬、武田 功、鈴木俊明  
平成2年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集  
457-469

- 9) 後脛骨神経刺激による頸部脊髄誘発電位 —表面電極法による検討—  
藤原哲司、武田 功、鈴木俊明、瀬古 敬  
脊髄電気診断学 13 (1)、93-96、1991
- 10) 刺激頻度の変化によるF波の反応性について  
鈴木俊明、武田 功、藤原哲司  
理学療法ジャーナル 26 (2)、123-125、1992
- 11) 肘関節屈筋群の等尺性収縮が対側脊髄運動神経機能に及ぼす影響  
—F波における検討—  
鈴木俊明、藤原哲司、武田 功  
理学療法学 19 (4)、356-363、1992
- 12) 近畿北部地区におけるスモン実態調査 (平成3年度)  
—神経障害・日常生活と Barthel Index—  
藤原哲司、斎田恭子、能登 直、高橋桂一、藤岡晨宏、井上静子、相井平八郎、  
瀬古 敬、武田 功、鈴木俊明  
平成3年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集  
513-523、1992
- 13) スモン患者におけるF波の検討  
藤原哲司、鈴木俊明、武田 功、  
平成3年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集  
117-121、1992
- 14) 脊髄神経機能の興奮性に与える等尺性収縮の影響について  
—F波における検討—  
鈴木俊明、藤原哲司、武田 功  
脊髄電気診断学 14 (1)、176-179、1992
- 15) 本学理学療法学科卒業生における研究活動の実態 (第1報)  
岩月宏泰、井関朋子、細井順子、金井 章、遠山佳代、鈴木俊明、杉浦昌巳、  
山田周子  
名古屋大学医療技術短期大学部紀要 5、151-156、1993

- 16) 脳卒中片麻痺患者の安静時F波の特性  
鈴木俊明、藤原哲司、武田 功  
理学療法ジャーナル 27、277-281、1993
- 17) 等尺性収縮が脊髄運動神経機能の興奮性に与える影響  
—健全中高齢者群、片麻痺群（非麻痺側）における検討—  
鈴木俊明、藤原哲司、武田 功  
理学療法学 20（4）、212-217、1993
- 18) スモンにおける痙性麻痺の電気生理学的検討  
—上下肢のF波について—  
藤原哲司、鈴木俊明、武田 功  
平成4年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集  
126-130、1993
- 19) スモン患者の知覚障害について  
—誘発電位による脊髄上行性伝導の検討—  
藤原哲司、鈴木俊明、武田 功  
平成4年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集  
99-104、1993
- 20) 近畿北部地区におけるスモン実態調査  
—5年間のまとめ—  
藤原哲司、斎田恭子、能登 直、高橋桂一、藤岡晨宏、柴崎 忍、相井平八郎  
鈴木俊明、武田 功、井上静子、瀬古 敬  
平成4年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集  
568-576、1993
- 21) 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側F波と随意運動機能の関係について  
鈴木俊明、藤原哲司、武田 功  
脊髄電気診断学 15、104-107、1993
- 22) 表面電極法による脊髄上行性伝導速度  
—若年健常者の基準値—  
藤原哲司、鈴木俊明、武田 功、瀬古 敬  
脊髄電気診断学 15、116-119、1993

- 23) 表面電極法による上行性脊髄伝導速度 —若年健常者の基準値—  
藤原哲司、鈴木俊明、武田 功、瀬古 敬  
臨床脳波 36、173-181、1994
- 24) 電気刺激条件がサイレントピリオドに与える影響について  
大工谷新一、鈴木俊明、武田 功、藤原哲司  
運動生理 9、87-90、1994
- 25) 予測された外力に伴う筋活動の特性  
佐藤正俊、鈴木俊明  
京都理学療法士会会誌 23、17-19、1994
- 26) 脳血管障害片麻痺患者の脊髄運動ニューロンの興奮性  
—F波の出現様式について—  
鈴木俊明、藤原哲司、武田 功  
脊髄電気診断学 16、130-133、1994
- 27) 低周波電気刺激前後のF波について  
廣瀬浩昭、鈴木俊明、武田 功、藤原哲司、大工谷新一、廣瀬亜由美  
日本生体電気刺激研究会誌 18、11-14、1994
- 28) スモンの脊髄運動ニューロンの興奮性に関する電気生理学的検討  
—F波の出現様式について—  
藤原哲司、鈴木俊明、武田 功  
平成5年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集  
108-113、1994
- 29) 近畿北部地区におけるスモン実態調査（平成5年度）  
藤原哲司、斎田恭子、能登 直、高橋桂一、藤岡晨宏、柴崎 忍  
相井平八郎、鈴木俊明、武田 功、瀬古 敬、岡本興一  
平成5年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集  
548-555、1994
- 30) 等尺性収縮度とサイレントピリオドの関連性  
大工谷新一、鈴木俊明、武田 功、藤原哲司

理学療法学 22、53-56、1995

31) 脳血管障害片麻痺患者のH波、F波出現様式

鈴木俊明、八瀬善郎、藤原哲司、大工谷新一、廣瀬浩昭

理学療法学 22、90-95、1995

32) 等尺性収縮度の変化における長潜時反射（LLR）の検討

廣瀬浩昭、鈴木俊明、大工谷新一、藤原哲司、武田 功、廣瀬亜由美

理学療法学 22、160-164、1995

33) つまみ力とH波との関係

藤善 将、鈴木俊明

作業療法 14、303-307、1995

34) F波出現を認めない脳血管障害片麻痺患者について

鈴木俊明、八瀬善郎、藤原哲司、大工谷新一、廣瀬浩昭

脊髓電気診断学 17、129-132、1995

35) 脳血管障害片麻痺患者の非麻痺側における脊髓運動神経機能

—振幅F/M比の変化について—

鈴木俊明、藤原哲司、武田 功

理学療法 12、315-320、1995

36) 双極導出と単極導出による筋積分量の比較

—等尺性収縮における検討—

廣瀬浩昭、鈴木俊明、大工谷新一

理学療法ジャーナル 30、133-136、1996

37) 擬似単極導出法による動作筋電図特性

鈴木俊明、廣瀬浩昭、大工谷新一、八瀬善郎、藤原哲司

理学療法 13、239-242、1996

38) 肢位変化が上肢脊髓運動神経機能の興奮性に与える影響

鈴木俊明、八瀬善郎、藤原哲司、大工谷新一、廣瀬浩昭

脊髓電気診断学 18、190-193、1996

- 39) ブリッジ動作における心拍血圧反応  
中野和貴、佐藤正俊、三浦雄一郎、山野津幸、鈴木俊明  
京都理学療法士会会誌、25、26-29、1996
- 40) 外力に伴う筋電図特性と歩容との関係 一脳卒中片麻痺患者の一症例を通して一  
佐藤正俊、鈴木俊明  
京都理学療法士会会誌、25、74-76、1996
- 41) 非麻痺側の過剰努力により機能低下を生じた陳旧例片麻痺患者の一症例  
郷原君代、山野津幸、鈴木俊明  
京都理学療法士会会誌、25、77-80、1996
- 42) 荷重肢位と中枢神経機能の関係について 一上肢での誘発筋電図における検討一  
大工谷新一、廣瀬浩昭、今西吉一、鈴木俊明、藤原哲司  
理学療法、14、64-67、1997
- 43) F波出現を認めなかった脳血管障害片麻痺患者の神経生理学的特性  
鈴木俊明、八瀬善郎、藤原哲司、大工谷新一、廣瀬浩昭  
理学療法学、24、16-22、1997
- 44) 攣縮性斜頸に対する鍼治療の効果 一筋電図学的検討一  
谷万喜子、鍋田理恵、鈴木俊明、八瀬善郎  
神経治療学、14、43-47、1997
- 45) 鍼刺激が対側自律神経機能の興奮性に与える影響  
西岡 芳、小松あや、鍋田理恵、谷万喜子、鈴木俊明・若山育郎  
関西鍼灸短期大学年報、第12巻 p.37-40、1997
- 46) サイレントピリオドと等尺性収縮度の関連性 一下肢における検討一  
大工谷新一、鈴木俊明、廣瀬浩昭、今西吉一、藤原哲司  
理学療法学、24、274-278、1997
- 47) 刺激強度の変化が長潜時反射（LLR）の反応性に及ぼす影響  
廣瀬浩昭、鈴木俊明、大工谷新一、藤原哲司  
理学療法学、24、335-340、1997

- 48) 鎮痛と東洋医学  
鍋田理恵、谷 万喜子、鈴木俊明  
理学療法ジャーナル、31、893-900、1997
- 49) 脳血管障害片麻痺患者における持続的筋伸張前後の脊髄神経機能の興奮性  
鈴木俊明、八瀬善郎、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、藤原哲司  
脊髄電気診断学 19、125-128、1997
- 50) 黄耆建中湯および運動療法を併用して機能改善を認めた脊髄小脳変性症の一症例  
—電気生理学的検討—  
鈴木俊明、八瀬善郎、谷万喜子、若山育郎  
日本東洋医学雑誌、48、451-457、1998
- 51) 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側上肢筋伸張肢位と脊髄機能  
鈴木俊明、鍋田理恵、谷万喜子、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、谷埜予士次  
藤原哲司  
脊髄電気診断学、20、134-137、1998
- 52) 誘発筋電図とボバースアプローチ  
鈴木俊明  
ボバースジャーナル、21(2)、1-7、1998
- 53) パーキンソン病の筋強剛と振戦に対する置鍼刺激の短期効果  
鍋田理恵、谷 万喜子、鈴木俊明、八瀬善郎  
神経治療学、15、513-519、1998
- 54) 等速性筋力強化訓練と敏捷性訓練の効果に関する電気生理学的検討  
大工谷新一、鈴木俊明、廣瀬浩昭、西口 悟、谷埜予士次  
第5回 Body Composition 研究会論文集 1-6、1998
- 55) 最大下等尺性収縮維持による筋疲労とM波面積の関係 —ヒラメ筋における検討—  
谷埜予士次、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、鈴木俊明  
疲労と休養の科学、13、75-80、1998
- 56) 多発性脳梗塞に対し認知運動療法が有効であった一症例  
郷原君代、山内紀子、西岡陽子、黒川 豊、佐藤正俊、鈴木俊明

京都理学療法士会々誌、27、34-40、1998

57) 大腿骨頸部骨折に対する認知運動療法の試み

西岡陽子、郷原君代、山内紀子、黒川 豊、佐藤正俊、鈴木俊明  
京都理学療法士会々誌、27、51-56、1998

58) 慢性腰痛症の運動療法

三浦雄一郎、渡邊裕文、吉田恵子、吉田星子、大沼俊博、鈴木俊明  
理学療法ジャーナル、33、209-214、1999

59) 脳血管障害患者の麻痺側肘関節屈筋群の筋伸張は短母指外転筋の筋緊張抑制に関与する -H波による検討-

鈴木俊明、鍋田理恵、谷万喜子、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、谷埜予士次  
大阪府理学療法士会誌、27、29-32、1999

60) 関西鍼灸短期大学における攣縮性斜頸患者の鍼治療の現状とその効果検討

鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、八瀬善郎  
関西鍼灸短期大学年報、14、51-57、1998

61) 攣縮性斜頸患者に対する鍼治療効果

—安静椅坐位および頸部動作時における表面筋電図による効果—  
谷 万喜子、鍋田理恵、鈴木俊明、若山育郎、八瀬善郎  
関西鍼灸短期大学年報、14、62-76、1998

62) 脳血管障害片麻痺患者に対する陽陵泉穴への置鍼刺激による鍼治療の効果

鍋田理恵、谷 万喜子、鈴木俊明、若山育郎、八瀬善郎  
関西鍼灸短期大学年報、14、77-82、1998

63) 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側肘関節屈筋群の筋伸張前後における短母指外転筋、母指対立筋H波変化

鈴木俊明、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、谷埜予士次、谷万喜子、鍋田理恵、  
若山育郎、藤原哲司、才藤栄一  
脊髄電気診断学 21、117-120、1999

64) 攣縮性斜頸患者の運動療法と表面筋電図学的効果検討

鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、八瀬善郎、李 華良、



大工谷新一、廣瀬浩昭

関西鍼灸短期大学年報 15、62-69、1999

65) 体表電極による脊髄機能の評価方法の検討

瀬古 敬、今井忠彦、森 一樹、白数和則、向井照二、鈴木俊明、藤原哲司

脊髄電気診断学 21、89-92、1999

66) 高齢脳血管障害片麻痺患者への鍼治療効果に関する調査・実験的研究

鈴木俊明、鍋田理恵、谷 万喜子、若山育郎

大和証券ヘルス財団研究業績集 23、89-94、2000

67) 反射

鈴木俊明、才藤栄一

総合リハビリテーション 28、515-520、2000

68) 機器を用いた運動解析と動作分析 一動作分析と表面筋電図を用いた運動解析の関連性一

大工谷新一、西守 隆、鈴木俊明

理学療法ジャーナル 34、425-429、2000

69) 攣縮性斜頸の鍼治療

鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、八瀬善郎

神経内科 53、20-27、2000

70) 下肢の随意運動が上肢脊髄神経機能の興奮性に与える影響

嘉戸直樹、鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一

関西鍼灸短期大学年報 15、70-74、2000

71) 病院勤務の理学療法士における精神的健康の評価

岩月宏泰、鈴木俊明、内山 靖、杉浦昌巳

月刊 総合ケア 10、61-64、2000

72) 理学療法学生における「老年者」イメージの要因分析

岩月宏泰、安田雅美、内山 靖、鈴木俊明、岩月順子

東北理学療法学 12、1-5、2000

- 73) 下肢伸展挙上動作が腹筋群の筋積分値に与える影響  
—股関節外転角度の変化による検討—  
大沼俊博、渡邊裕文、三浦雄一郎、吉田星子、鈴木俊明  
京都理学療法士会会誌 29、48-51、2000
- 74) 誘発筋電図（F波、H波）の検査方法に関するガイドライン  
—国際臨床神経生理学会の報告から—  
鈴木俊明、才藤栄一  
理学療法科学 15、187-192、2000
- 75) 脳血管障害片麻痺患者の下肢随意運動で出現する麻痺側上肢の連合運動に関する脊髄神経機能  
鈴木俊明、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、谷埜予士次、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、藤原哲司、才藤栄一  
脊髄電気診断学 22、123-126、2000
- 76) 誘発筋電図  
鈴木俊明  
理学療法研究への誘い（ハズキの会論文集）、18-26、2000
- 77) 発表の手順  
鈴木俊明  
理学療法研究への誘い（ハズキの会論文集）、91-92、2000
- 78) 痙縮とシナプス前抑制  
鈴木俊明、才藤栄一  
関西鍼灸短期大学年報第16号、86-92、2001
- 79) 下肢の随意運動時における上肢脊髄神経機能の興奮性の変化—脳血管障害片麻痺患者及び健常者における検討—  
嘉戸直樹、岩永優子、鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一  
関西鍼灸短期大学年報第16号、93-97、2001
- 80) 攣縮性斜頸患者の頸部動作にともなう筋活動パターンと筋電図反応時間  
高田あや、谷 万喜子、鍋田理恵、鈴木俊明、若山育郎、八瀬善郎  
関西鍼灸短期大学年報第16号、98-104、2001

- 81) 病院理学療法士におけるバーンアウトとその関連要因  
岩月宏泰、鈴木俊明、内山 靖、杉浦昌己  
保健の科学、577-582、2001
- 82) 攣縮性斜頸患者に対する鍼治療—筋電図評価を用いた効果検討—  
鈴木俊明  
全日本鍼灸学会雑誌、51:575-577、2001
- 83) 脳血管障害片麻痺患者の痙縮と連合反応  
鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎  
関西理学、1:35-41、2001
- 84) 上腕骨顆上骨折後患者における筋電図評価と運動療法効果の検討  
大沼俊博、渡邊裕文、蔦谷星子、三好裕子、鈴木俊明  
関西理学療法、1:53-58、2001
- 85) 理学療法士養成校の学内教育における「健常者の動作観察」の必要性  
—関西医療学園専門学校理学療法学科における実践報告—  
鈴木俊明、西守 隆、高崎恭輔  
関西鍼灸短期大学年報 第17号、23-27、2002
- 86) 攣縮性斜頸患者の連続頸部回旋動作における筋電図パターン変化 —障害度の異なる  
2症例での比較検討  
鈴木俊明、谷 万喜子、高田あや、飯塚朋子、鍋田理恵、大工谷新一、若山育郎、八瀬  
善郎  
関西鍼灸短期大学年報 第17号、18-22、2002
- 87) 体幹の偏倚を伴った攣縮性斜頸患者に対する鍼治療  
飯塚朋子、谷 万喜子、高田あや、鈴木俊明、若山育郎、八瀬善郎  
関西鍼灸短期大学年報第17号、90-96、2002
- 88) 動作分析が重要であった右大腿骨骨折患者に対する運動療法と筋電図学的効果検討  
米田浩久、鈴木俊明  
関西鍼灸短期大学年報第17号、79-89、2002

- 89) 重度の閉口障害を認めた開口ジストニア患者に対する鍼治療効果の検討  
高田あや、鈴木俊明、谷 万喜子、飯塚朋子、鍋田理恵、大工谷新一、若山育郎、八瀬善郎  
関西鍼灸短期大学年報第 17 号、102-107、2002
- 90) 脳血管障害片麻痺患者の下肢随意運動が非麻痺側上肢脊髄神経機能に与える影響  
嘉戸直樹、鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一  
関西鍼灸短期大学年報第 17 号、97-101、2002
- 91) 正常動作の神経機構  
鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、吉田宗平  
関西理学. 2 : 1-9、2002
- 92) 脳卒中片麻痺症患者の麻痺側上肢に対する理学療法 一麻痺側上肢挙上保持評価に着目して  
大沼俊博、渡邊裕文、蔦谷星子、三好裕子、山口剛司、鈴木俊明  
関西理学. 2 : 103-107、2002
- 93) 体幹筋の筋緊張異常により歩行に問題を認めた脳血管障害片麻痺患者の運動療法と筋電図学的効果検討  
米田浩久、鈴木俊明  
関西理学. 2 : 113-120、2002
- 94) 様々な西洋医学的治療が無効であった頸部ジストニア患者に対する鍼治療  
飯塚朋子、谷 万喜子、高田あや、鈴木俊明、若山育郎、吉田宗平  
関西理学. 2 : 127-132、2002
- 95) 斜角筋が問題となった頸部ジストニア患者に対する鍼治療  
井上博紀、谷 万喜子、高田あや、飯塚朋子、鈴木俊明、若山育郎、吉田宗平  
関西理学. 2 : 133-138、2002
- 96) 脳血管障害片麻痺患者の痙縮の病態生理と持続的筋身長を用いた治療効果に関する筋電図学的検討  
鈴木俊明  
藤田学園医学会誌 臨時増刊. 21:269-290.2002

- 97) 姿勢・筋緊張異常の検査・測定  
鈴木俊明、大工谷新一、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、吉田宗平  
理学療法 20 : 105-113、2003
- 98) 中高年者の運動アドヒアランスに影響する因子に関する研究 ―民間フィットネスクラブ1施設における検討―  
大工谷新一、鈴木俊明、原田宗彦  
理学療法学. 30 : 48-54. 2003
- 99) 和歌山県におけるスモン患者の現状と鍼灸受診状況  
吉田宗平・谷 万喜子・鍋田理恵・飯塚朋子・鈴木俊明  
厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班  
平成14年度 総括・分担研究報告書. 67-70. 2003
- 100) 和歌山県スモン患者の歩行能力とリハビリテーションアプローチ  
吉田宗平・鈴木俊明・谷 万喜子・鍋田理恵・飯塚朋子  
厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班  
平成14年度 総括・分担研究報告書. 91-93. 2003
- 101) 電気生理学的検査マニュアル F波, H波, 長潜時反射  
鈴木俊明・才藤栄一  
Monthly book Medical Rehabilitation. 29 : 51-59. 2003
- 102) 脳血管障害片麻痺患者の痙縮の病態生理とその評価  
鈴木俊明・才藤栄一・谷 万喜子・鍋田理恵、若山育郎、吉田宗平  
ボバースジャーナル 26-1 : 60-64. 2003
- 103) 皮質下と関節運動制御  
鈴木俊明、大工谷新一、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、吉田宗平  
アスレティックリハビリテーション. 4 : 7-13. 2003
- 104) 鍼治療と mianserin が奏功した頸部ジストニアを生じたうつ病の一例  
分野正貴、柳生隆視、谷 万喜子、入澤 聡、鈴木俊明、木下利彦  
精神科治療学. 18(7) : 811-6. 2003
- 105) 鍼灸院で応用できるパーキンソン病に対する理学療法のアプローチ ―歩行機能

改善に注目して—

鈴木俊明, 谷 万喜子, 米田浩久, 金井一暁

医道の日本. 62(13) : 37-42. 2003

106) 理学療法 —統合医療へ向けての役割

鈴木俊明

マニピュレーション. 18(4) : 38-44. 2003

107) 動作観察・動作分析

鈴木俊明, 西守 隆

関西理学. 3 : 33-9. 2003

108) 股関節外転位下肢伸展挙上保持における骨盤の働きと腹筋群の筋積分値との関係

—非挙上側下肢屈曲位での検討—

大沼俊博, 渡邊裕文, 蔦谷星子, 三好裕子, 山口剛司, 藤本将志, 赤松圭介,

若林志保子, 鈴木俊明

関西理学. 3 : 101-4. 2003

109) 健常者の前方ステップ動作における腰背筋の筋活動特性

金井一暁, 米田浩久, 鈴木俊明

関西理学. 3 : 105-10. 2003

110) 肩関節輪転器を用いた運動療法に関する一考察 —運動方向の違いにおける筋電

図学的検討—

福島秀晃, 三浦雄一郎, 布谷美樹, 田中伸幸, 山本栄里, 鈴木俊明

関西理学. 3 : 111-7. 2003

111) 歩行で過度の体幹の側方傾斜および回旋を認めた体幹ジストニア患者に対する運

動療法の筋電図学的効果検討

米田浩久, 鈴木俊明

関西理学. 3 : 119-25. 2003

112) 動作分析と東洋医学的観点から考察した書痙患者2症例に対する鍼治療

井上博紀, 谷 万喜子, 高田あや, 飯塚朋子, 鈴木俊明, 若山育郎, 吉田宗平

関西理学. 3 : 127-31. 2003

- 113) 脳血管障害片麻痺患者における座位での側方重心移動を用いた治療の一考察  
山口剛司, 渡邊裕文, 蔦谷星子, 大沼俊博, 三好裕子, 赤松圭介, 藤本将志,  
若林志保子, 鈴木俊明  
関西理学. 3 : 139-44. 2003
- 114) 動作筋電図を用いて治療を展開した腰椎椎間板ヘルニアの一症例 —運動療法による効果とその限界—  
三浦雄一郎, 鈴木俊明  
マニピュレーション. 19(1) : 8-14. 2003
- 115) ボツリヌス治療後に頸部の異常姿勢が残存した頸部ジストニア患者 1 症例に対する鍼治療  
谷 万喜子, 鈴木俊明, 若山育郎, 吉田宗平  
マニピュレーション. 19(1) : 21-7. 2004
- 116) 重度の感覚障害によって歩行に問題を認めた慢性期脳血管障害片麻痺患者の運動療法と重心動揺並びに筋電図学的検討—感覚刺激の重要性について—  
中塚和樹, 米田浩久, 鈴木俊明  
関西鍼灸大学紀要. 1 : 71-78. 2004
- 117) 体幹筋の筋緊張異常により歩行時に麻痺側体幹に著しい前後方向への崩れを認められた左片麻痺患者に対する運動療法と筋電図学的検討  
入来宏光, 米田浩久, 鈴木俊明  
関西鍼灸大学紀要. 1 : 79-84. 2004
- 118) 体幹アプローチが歩容改善に重要であった脳血管障害片麻痺患者の運動療法と筋電図学的効果検討  
松岡成治, 米田浩久, 鈴木俊明  
関西鍼灸大学紀要. 1 : 85-91. 2004
- 119) 早期に改善を認めた書痙患者 1 症例に対する鍼治療  
井上博紀, 谷 万喜子, 高田あや, 鈴木俊明, 若山育郎  
関西鍼灸大学紀要. 1 : 59-63. 2004
- 120) 重度頸部右回旋および不随意運動を呈した頸部ジストニア患者に対する鍼治療  
高田あや, 谷 万喜子, 井上博紀, 鈴木俊明, 若山育郎, 柳生隆視, 木下利彦

関西鍼灸大学紀要. 1 : 53-58. 2004

- 121) 体幹筋活動の改善が頸部機能に改善を認めた頸部ジストニア患者の一症例  
米田浩久, 鈴木俊明

関西鍼灸大学紀要. 1 : 64-70. 2004

- 122) 脳血管障害片麻痺患者の痙性期に対する理学療法—下肢機能に着目して—  
渡邊裕文, 鈴木俊明

ポバースジャーナル. 27(1) : 2-7. 2004

- 123) 筋電図

鈴木俊明

理学療法ジャーナル. 38 : 56. 2004

- 124) 痙縮に対する東洋医学的治療

鈴木俊明・谷 万喜子

Monthly book Medical Rehabilitation. 43 : 73-81. 2004

- 125) 理学療法における神経機能面から捉えた高齢者診療の今日と今後のあり方  
鈴木俊明

マニピュレーション. 19 (3) : 20-25. 2004

- 126) 臨床実習の総合評価に影響を及ぼす要因に関する研究

大工谷新一・谷埜予士次・西守 隆・高崎恭輔・金井一暁・廣瀬亜由美・廣瀬浩昭・坂  
本隆弘・三原 修・鈴木俊明

理学療法科学. 19 : 223-227. 2004

- 127) 片脚立位時における骨盤運動と下肢筋活動について

—支持脚足部外側ウェッジの有無と非支持脚股関節屈曲角度変化による検討—

西守 隆・大工谷新一・廣瀬浩昭・谷埜予士次・高崎恭輔・鈴木俊明

総合リハビリテーション. 32 : 981-986. 2004

- 128) 和歌山県スモン患者の歩行能力とリハビリテーション

—ファンクショナルリーチテストを用いた検討—

吉田宗平・鈴木俊明・中吉隆之・池藤仁美・吉益文夫

厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班



平成 15 年度 総括・分担研究報告書. 106-108. 2004

- 129) 和歌山県下鍼灸師のスモン患者治療状況と今後の課題  
—スモン患者の QOL 向上を目的として—  
吉田宗平・中吉隆之・鈴木俊明・池藤仁美・吉益文夫  
厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班  
平成 15 年度 総括・分担研究報告書. 153-155. 2004
- 130) 理学療法とスポーツ・コンディショニング  
谷埜予士次・大工谷新一・鈴木俊明  
マニピュレーション. 19 (4) : 44-50. 2004
- 131) 反射運動の筋電図学的評価 —F 波・T 波—  
鈴木俊明・才藤栄一・藤原哲司  
理学療法. 21 : 1381-1391. 2004
- 132) ここまでわかった鍼灸医学：基礎と臨床との交流  
—筋疾患および筋機能・代謝における鍼灸の効果と現状—  
尾崎昭弘、若山育郎、田中秀明、鈴木俊明、新原寿志  
全日本鍼灸学会雑誌. 54 : 698-716. 2004
- 133) 問題点の予測の仕方  
鈴木俊明  
関西理学. 4 : 1-3. 2004
- 134) 臨床動作促通法 —CMFM (Clinical Motion Facilitation Method)—  
鈴木俊明・渡邊裕文・後藤 淳・米田浩久・金井一暁・田淵 愛  
関西理学. 4 : 65-70. 2004
- 135) 脳血管障害片麻痺患者における体幹筋の二次的に引き起こる筋短縮が筋緊張異常  
に及ぼす影響  
松岡成治・米田浩久・鈴木俊明  
関西理学. 4 : 87-96. 2004
- 136) トルクカーブの分析による運動技能評価の試み  
高崎恭輔・谷埜予士次・西守 隆・金井一暁・大工谷新一・鈴木俊明

関西理学. 4 : 103-108. 2004

- 137) 書痙患者に対する鍼治療効果 —描画動作と筆圧による検討—  
井上博紀・谷 万喜子・高田あや・赤川淳一・鈴木俊明・若山育郎・吉田宗平  
関西理学. 4 : 115-121. 2004
- 138) 体幹筋、特に内腹斜筋へのアプローチにより座位保持の安定性に改善が認められた脳幹出血後遺症患者に対する一考察  
金井一暁・米田浩久・鈴木俊明  
関西理学. 4 : 123-129. 2004
- 139) 慢性期脳血管障害片麻痺患者の上肢の運動療法と筋電図学的検討  
中塚和樹・米田浩久・鈴木俊明  
関西理学. 4 : 137-143. 2004
- 140) ジストニアの鍼治療と局所脳血流 —eZIS・3DSRTを用いた評価—  
河 相吉・吉田常孝・柳生隆視・谷 万喜子・鈴木俊明・澤田 敏  
映像情報 MEDICAL. 36 : 1380-1384. 2004
- 141) 立位での一側下肢挙上動作における足底圧中心軌跡と下肢筋筋活動の立ち上がり潜時について—テーピングによる横足根関節可動域制限の有無における検討—  
西守 隆・大工谷新一・谷埜予士次・高崎恭輔・鈴木俊明  
理学療法科学. 20 : 17-23. 2005
- 142) 頸肩腕症候群に対するマッサージ治療  
大沼俊博・渡邊裕文・鈴木俊明  
マニピュレーション. 20 (2) : 8-14. 2005
- 143) 立位での右下肢の前後ステップ動作時における腹筋群筋活動の検討  
米田浩久・鈴木俊明  
関西鍼灸大学紀要. 2 : 42-49. 2005
- 144) 動作分析に動作筋電図検査を用いた小脳出血の一症例  
弓永久哲・三浦雄一郎・鈴木俊明  
関西鍼灸大学紀要. 2 : 54-61. 2005

- 145) 罹病期間が長期の頸部ジストニア患者に対する鍼治療  
—心理的要因が関与した一症例—  
高田あや、谷 万喜子、井上博紀、赤川淳一、鈴木俊明、若山育郎、吉田宗平  
関西鍼灸大学紀要. 2 : 62-66. 2005
- 146) 体幹および下肢に著明な不随意運動を認めた多発性硬化症患者の不随意運動に対する表面筋電図学的検討  
金井一暁・鈴木俊明  
関西鍼灸大学紀要. 2 : 67-74. 2005
- 147) 両側立脚中期から後期にかけて前方への円滑な体重移動が困難であった多発性神経炎患者に対する運動療法 —体幹・骨盤の動きに着目することの重要性—  
入來宏光・米田 浩久・鈴木 俊明  
関西鍼灸大学紀要. 2 : 75-81. 2005
- 148) 治療として立位での側方移動が重要であった脳血管障害片麻痺患者に対する筋電図学的検討  
松岡成治・米田浩久・鈴木俊明  
関西鍼灸大学紀要. 2 : 82-88. 2005
- 149) 分廻し歩行を呈する右片麻痺患者における歩行時の麻痺側離床動作と体幹筋の活動について  
森 健浩・米田 浩久・鈴木 俊明  
関西鍼灸大学紀要. 2 : 89-94. 2005
- 150) 足部内反尖足により歩行困難であった脳血管障害片麻痺患者  
古賀和美、米田浩久、鈴木俊明  
関西鍼灸大学紀要. 2 : 95-100. 2005
- 151) 両側足底の感覚が重度鈍麻で立位姿勢と歩行動作に問題が認められた多発神経炎患者の一症例  
丸岡純子、中塚和樹、松岡成治、米田浩久、鈴木俊明  
関西鍼灸大学紀要. 2 : 101-107. 2005
- 152) 内腹斜筋へのアプローチにより座位保持の安定性に改善がみられた脳幹出血後遺症患者に対する一考察

金井一暁、米田浩久、鈴木俊明

大阪府理学療法士会誌. 33 : 37-43. 2005

- 153) 統合失調症治療中に発症した重度の軸性ジストニアに対する鍼治療効果  
谷 万喜子、鈴木俊明、高田あや、柳生隆視、木下利彦  
精神神経学雑誌. 107 : 802-810. 2005
- 154) マッサージによるアプローチ —近年の手技のあらましと一症例にみる考察  
福島秀晃、三浦雄一郎、鈴木俊明  
マニピュレーション. 20 (4) : 62-69. 2005
- 155) 脊髄の運動制御機構  
鈴木俊明  
関西理学. 5 : 1-9. 2005
- 156) セラピストのための身体操作  
魚住 心、鈴木俊明  
関西理学. 5 : 77-82. 2005
- 157) 非麻痺側腰背筋の筋緊張亢進により、麻痺側上肢に著明な連合反応が誘発された  
脳血管障害患者に対する筋電図学的検討  
弓永久哲、鈴木俊明、米田浩久、若山育郎  
関西理学. 5 : 83-89. 2005
- 158) 端座位における側方への一側手支持が体幹筋の筋活動に与える影響  
藤本将志、渡邊裕文、蔦谷星子、大沼俊博、三好裕子、赤松圭介、中道哲朗、  
鈴木俊明  
関西理学. 5 : 91-95. 2005
- 159) 非利き手の運動課題による聴覚刺激に対する筋電図反応時間— 一側および両側  
刺激と刺激回数変化における検討—  
伊藤正憲、弓永久哲、鈴木俊明  
関西理学. 5 : 97-101. 2005
- 160) 上部体幹の可動性低下により体幹筋の機能不全が生じた脳血管障害患者の一症例  
弓永久哲、鈴木俊明、若山育郎

関西理学. 5 : 109-118. 2005

- 161) 腹斜筋および中殿筋の筋緊張異常によって歩行の実用性に問題を認めたウイルス性脳炎後遺症患者について  
坂田真未、金井一暁、鈴木俊明  
関西理学. 5 : 119-124. 2005

- 162) 正常動作と異常動作  
鈴木俊明  
理学療法. 25 : 1-10. 2005

- 163) 関西理学療法学会 座談会 私が大切にしている基礎理論  
鈴木俊明  
関西理学. 5:51-72.2005

- 164) アシュワーススケール  
鈴木俊明  
理学療法ジャーナル. 39:65.2005

- 165) 和歌山県スモン患者における座位・立位の前方移動能力の経年変化  
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之、吉益文夫  
スモンに関する調査研究班 平成 17 年度総括・分担研究報告書. 97-100. 2006

- 166) 動作習得前後における右下肢のステップ動作時での体幹筋筋活動の検討  
米田浩久、鈴木俊明  
関西鍼灸大学紀要. 3 : 40-47. 2006

- 167) 筋緊張の評価と治療  
鈴木俊明  
理学療法学. 33 : 180-186. 2006

- 168) 骨盤挙上時における腰背筋群の等尺性収縮が同側上肢脊髄運動神経機能に与える影響 —F 波における検討—  
弓永久哲、鈴木俊明  
総合リハビリテーション. 34 : 577-584. 2006

- 169) 聴覚刺激に対する筋電図反応時間の検討  
—単耳および両耳刺激と刺激回数変化に着目して—  
伊藤正憲、弓永久哲、鈴木俊明  
総合リハビリテーション. 34 : 889-893. 2006
- 170) どのように治療法を選択するか  
鈴木俊明  
関西理学. 6 : 1-4. 2006
- 171) 小脳外側部の圧迫によって視覚性記憶障害を呈した失調症患者の一症例  
岩城隆久、鈴木俊明、小淵恭輔、宮澤茉衣  
関西理学. 6 : 69-75. 2006
- 172) 立位における骨盤後傾角度変化が大腿筋膜張筋、大腿二頭筋および内側広筋の筋電図積分値に及ぼす影響  
中道哲朗、渡邊裕文、大沼俊博、赤松圭介、藤本将志、鈴木俊明  
関西理学. 6 : 77-83. 2006
- 173) 座位での側方移動における僧帽筋の機能に関する一考察  
福島秀晃、三浦雄一郎、鈴木俊明  
関西理学. 6 : 85-89. 2006
- 174) 投球動作ワインドアップ期の安定性と制球力の関係について  
—体幹傾斜角度の変動に着目して—  
高崎恭輔、大工谷新一、鈴木俊明  
関西理学. 6 : 97-101. 2006
- 175) 左合谷への鍼刺激が左胸鎖乳突筋の反応時間に与える影響について  
酒井英謙、谷 万喜子、西村栄津子、上田 愛、福島綾子、井上博紀、高田あや、鈴木俊明  
関西理学. 6 : 103-107. 2006
- 176) 肩関節可動域制限に対する鍼治療と運動療法の効果検討  
—肩関節外転運動時の棘上筋の筋活動促進方法—  
福島綾子、谷 万喜子、高田あや、鈴木俊明  
関西理学. 6 : 109-115. 2006

- 177) 麻痺側足部の治療により歩行動作の改善が見られた脳血管障害片麻痺患者についての一考察  
龍神正導、弓永久哲、米田浩久、鈴木俊明  
関西理学. 6 : 145-150. 2006
- 178) 長期の補装具使用による片麻痺患者の歩行動作への影響  
竹島知江、仙波正博、米田浩久、弓永久哲、鈴木俊明  
関西理学. 6 : 151-156. 2006
- 179) 姿勢変化による上肢脊髄運動神経機能の興奮性の変化  
弓永久哲、鈴木俊明  
総合リハビリテーション. 35 : 373-378. 2007
- 180) 荷重量変化における上肢脊髄運動神経機能の興奮性の変化  
弓永久哲、鈴木俊明  
総合リハビリテーション. 35 : 595-600. 2007
- 181) 和歌山県スモン患者における足関節背屈可動域と座位・立位の前方移動能力  
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之、吉益文夫  
スモンに関する調査研究班 平成 18 年度総括・分担研究報告書. 110-112. 2007
- 182) タイミング同期動作における同期誤差・筋積分値・動作角度の推移特性  
—連続刺激による刺激回数の増加が及ぼす影響—  
伊藤正憲、嘉戸直樹、弓永哲久、鈴木俊明  
総合リハビリテーション. 35 : 719-723. 2007
- 183) 臨床研究のマネジメント  
鈴木俊明  
関西理学. 7 : 7-11. 2007
- 184) アンダースロー投法の動作分析  
—「動作中の関節運動が持つ意味」に着目して—  
高崎恭輔、大工谷新一、鈴木俊明  
関西理学. 7 : 43-49. 2007

- 185) 頭頸部に着目した身体操作—アレクサンダー・テクニックの考えに基づいて—  
魚住 心、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 7 : 51-53. 2007
- 186) 立位における側方への体重移動の変化が移動側大殿筋の筋電図積分値に及ぼす影響  
—大殿筋上部線維と下部線維の作用に関する検討—  
藤本将志、渡邊裕文、蔦谷星子、大沼俊博、三好裕子、赤松圭介、中道哲朗、  
鈴木俊明  
関西理学. 7 : 71-74. 2007
- 187) 肩関節屈曲保持角度における三角筋筋活動—屈曲角度と書く筋線維との関係—  
布谷美樹、森原徹、三浦雄一郎、福島秀晃、鈴木俊明  
関西理学. 7 : 81-84. 2007
- 188) 健常者における一側下肢の前後ステップ動作での体幹筋筋活動  
—前方ステップと後方ステップにおける検討—  
米田浩久、鈴木俊明  
関西理学. 7 : 85-90. 2007
- 189) 鍼治療が頸部ジストニア患者の心理的問題に与える影響  
高田あや、谷 万喜子、井上博紀、吉野真紀、鈴木俊明、若山育郎、吉田宗平、  
柳生隆視、木下利彦  
関西理学. 7 : 91-96. 2007
- 190) 書痙を含む上肢ジストニア 1 症例に対する鍼治療効果  
—書字評価テストと筆圧側定による検討—  
井上博紀、谷 万喜子、西村栄津子、高田あや、鈴木俊明、吉田宗平  
関西理学. 7 : 97-104. 2007
- 191) ボバースアプローチと EBM  
鈴木俊明  
ボバースジャーナル. 30 : 104-108. 2007
- 192) 座位における体幹機能—脳血管障害患者への応用—  
渡邊裕文、鈴木俊明



理学療法 28 : 15-21. 2008

- 193) WCPT のサブグループと日本の理学療法の展望  
IAAPT と日本の理学療法の展望  
鈴木俊明、谷 万喜子  
PT ジャーナル 42 : 205-208. 2008
- 194) 和歌山県スモン患者における立位の前方移動能力と歩行機能との関係  
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之、米田浩久、吉益文夫  
厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調査研究班  
平成 19 年度 総括・分担研究報告書. 84-87. 2008
- 195) 崑崙への鍼刺激がヒラメ筋のH波に与える影響  
酒井英謙、谷埜予士次、高田あや、谷 万喜子、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 2 : 20-25. 2008
- 196) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージの効果には性差があるか  
—F波を用いた検討—  
鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、鬼形周恵子、塩見紀子、谷 万喜子  
関西医療大学紀要. 2 : 26-31. 2008
- 197) レッグエクステンションを行う際に骨盤の肢位はどのようにすべきか？  
谷埜予士次、福島綾子、酒井英謙、高崎恭輔、米田浩久、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 2 : 32-37. 2008
- 198) 非利き手によるボーリング投球動作を用いた言語的 KR の運動学習効果について  
米田浩久、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 2 : 74-78. 2008
- 199) ピアニストの musician' s cramp に対する鍼治療効果  
井上博紀、谷 万喜子、高田あや、西村栄津子、酒井英謙、鈴木俊明、吉田宗平  
関西医療大学紀要. 2 : 79-84. 2008
- 200) コッキング期での投球側肘関節屈曲角度増大により、右打者内角球の球速が増したアンダースロー投手  
高崎恭輔、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 2 : 97-102. 2008

- 201) クラリネット奏者の局所性ジストニアに対する鍼治療効果  
福島綾子、谷 万喜子、井上博紀、高田あや、鈴木俊明、吉田宗平  
関西医療大学紀要. 2 : 103-108. 2008
- 202) 肩関節屈曲と外転における鎖骨・肩甲骨の運動 —座標移動分析を用いた検討—  
三浦雄一郎、森原 徹、福島秀晃、鈴木俊明  
総合リハ. 36 : 877-884. 2008
- 203) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージは脊髄神経機能を増加させる  
鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、鬼形周恵子、谷 万喜子  
脊髄機能診断学 30 : 100-103. 2008
- 204) 慢性期脳出血後右片麻痺患者の実用的歩行にむけて  
渡邊裕文、鈴木俊明  
ボバースジャーナル. 31 : 101-104. 2008
- 205) 身のまわり動作と生活関連動作を考える  
鈴木俊明  
関西理学. 8 : 1-5. 2008
- 206) 車の運転動作を考える  
高崎恭輔、米田浩久、山口剛司、鈴木俊明  
関西理学. 8 : 35-41. 2008
- 207) 患者を重心移動させる際にセラピストが行う身体操作  
魚住 心、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 8 : 53-55. 2008
- 208) 座位での側方移動距離の変化が広背筋の筋電図積分値に及ぼす影響  
—広背筋上部線維・下部線維に着目して—  
安井重男、藤本将志、渡邊裕文、大沼俊博、赤松圭介、中道哲朗、鈴木俊明  
関西理学. 8 : 69-73. 2008
- 209) 立位姿勢の足底圧中心位置の違いが着座動作の姿勢制御に与える影響について

藤井隆太、高木綾一、山口剛司、高崎恭輔、大工谷新一、鈴木俊明  
関西理学. 8 : 85-94. 2008

210) 頸部および体幹に偏倚を認めた薬剤性ジストニアに対する1回の鍼治療効果  
西村栄津子、酒井英謙、谷 万喜子、鈴木俊明  
関西理学. 8 : 101-105. 2008

211) 全国勉強会紹介 大阪臨床生理理学療法研究会  
鈴木俊明  
理学療法ジャーナル. 42:230.2008

212) 肩関節屈曲における前鋸筋下部線維、僧帽筋下部繊維への選択的運動療法の試み  
福島秀明、森原 徹、三浦雄一郎、鈴木俊明  
総合リハビリテーション. 37 : 145-150. 2009

213) 骨盤肢位の違いとレッグエクステンション中の大腿四頭筋の筋活動  
谷埜予士次、高崎恭輔、大工谷新一、鈴木俊明  
総合リハビリテーション. 37 : 565-571. 2009

214) 経穴刺激理学療法の効果と其中高年に対する臨床応用に関する筋電図による  
検討  
鈴木俊明、谷 万喜子  
大阪ガスグループ福祉財団研究報告書. 22 : 69-75. 2009

215) 肩関節屈曲と外転時の肩甲骨運動の特徴と肩甲骨周囲筋との関連性  
三浦雄一郎、森原 徹、福島秀晃、鈴木俊明  
総合リハビリテーション. 37 : 649-655. 2009

216) 膝伸展疲労課題中の内側広筋斜頭および長頭の機能に関する筋電図学的検討  
谷埜予士次、大工谷新一、鈴木俊明  
体力科学. 58 : 441-452. 2009

217) 座標移動分析法が肩甲骨運動プログラム作成に有効であった前鋸筋麻痺の1症例  
加古原彩、森原 徹、三浦雄一郎、福島秀晃、鈴木俊明  
総合リハビリテーション 37、951-955、2009

- 218) 崑崙穴への経穴刺激理学療法におけるヒラメ筋 H 波変化  
鈴木俊明、谷 万喜子、鬼形周恵子、米田浩久、谷埜予士次、高崎恭輔  
関西医療大学紀要. 3 : 7-12. 2009
- 219) 膝伸展疲労課題と膝伸筋群の筋電図特性について  
谷埜予士次、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 3 : 13-20. 2009
- 220) 養成校入学時における理学療法における認知度  
谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、塩見紀子、鬼形周恵子、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 3 : 149-153. 2009
- 221) 本学理学療法学科 1 年生に対する OSCE 結果についての検討  
—合格者による達成度について—  
米田浩久、谷埜予士次、高崎恭輔、鈴木俊明、湯浅亮一  
関西医療大学紀要. 3 : 154-160. 2009
- 222) 非利き手でのボーリング投球動作を用いた言語的 KR 府付与における運動学習時  
の運動再現性の検討  
米田浩久、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 3 : 48-53. 2009
- 223) 理学療法学科 2 年次短期実習の報告  
—学生情報の伝達に関する本実習での試みについて—  
高崎恭輔、谷埜予士次、米田浩久、鈴木俊明、湯浅亮一  
関西医療大学紀要. 3 : 135-139. 2009
- 224) 運動イメージに関する文献的研究  
鬼形周恵子、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 3 : 61-67. 2009
- 225) 後谿への鍼刺激が肩外転運動に与える影響  
福島綾子、谷埜予士次、酒井英謙、谷 万喜子、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 3 : 30-35. 2009
- 226) 外関への鍼刺激が肩外転運動に与える影響

酒井英謙、福島綾子、谷埜予士次、高田あや、谷 万喜子、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 3 : 1-6. 2009

227) 鍼治療による筋緊張促進が頸部偏倚の改善に有効であった頸部ジストニアの一症例

氏原輝子、井上博紀、西村栄津子、酒井英謙、谷 万喜子、鈴木俊明、吉田宗平  
関西医療大学紀要. 3 : 77-81. 2009

228) 立位および歩行動作に着目し、鍼治療を行った体幹ジストニアの一症例

飯田晋司、山田哲平、宇羅直美、谷 万喜子、鈴木俊明、吉田宗平  
関西医療大学紀要. 3 : 72-76. 2009

229) 妊娠中の頸部ジストニア患者一症例に対する鍼治療

宇羅直美、氏原輝子、谷 万喜子、鈴木俊明、吉田宗平  
関西医療大学紀要. 3 : 82-87. 2009

230) 歩行時に非麻痺側の過剰な努力により歩行困難を呈していた脳血管障害片麻痺患者の一症例

楠田啓介、米田浩久、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 3 : 88-94. 2009

231) 体幹筋の筋緊張の調整が歩行の安定性向上に寄与した小脳出血患者の1症例

阪野栄一、米田浩久、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 3 : 95-100. 2009

232) 非麻痺側の過剰努力と動作に対する恐怖心により理学療法に難渋した脳血管障害片麻痺患者の一症例

仙波正博、米田浩久、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 3 : 101-107. 2009

233) 双極性障害の加療中に生じた遅発性ジストニアに対する鍼治療

西村栄津子、三井 浩、谷 万喜子、高田あや、鈴木俊明、柳生隆視、木下利彦  
関西医療大学紀要. 3 : 115-120. 2009

234) 身のまわり動作、生活関連動作から基本動作を考える

鈴木俊明

関西理学. 9 : 1-5. 2009

235) 車の運転動作を考えるーペダル操作に必要となる体幹筋の活動に着目してー

高崎恭輔、山口剛司、鈴木俊明

関西理学. 9 : 35-40. 2009

236) 鍼治療の新しい視点ー置鍼中の姿勢への着目ー

谷 万喜子、鈴木俊明

関西理学. 9 : 41-45. 2009

237) 周期的な聴覚刺激を手がかりとして遂行する運動におけるタイミングの検討

ーIn-phase 運動および Anti-phase 運動による比較ー

伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明、嶋田智明

関西理学. 9 : 47-56. 2009

238) 仙腸関節における骨盤偏移の評価と理学療法

高崎恭輔、鈴木俊明、清水卓也

関西理学. 9 : 57-68. 2009

239) 周期的な聴覚刺激における刺激回数の増加と刺激頻度の相違が筋電図反応時間の変化に及ぼす影響ー側足関節背屈運動における検討ー

藤原 聡、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学. 9 : 77-81. 2009

240) 立位での一側下肢への荷重が荷重側股関節外転筋群の筋電図積分値に与える影響

ー体幹前傾に伴う股関節屈曲角度の変化による検討ー

池田幸司、藤本将志、安井重男、渡邊裕文、大沼俊博、赤松圭介、鈴木俊明

関西理学. 9 : 83-88. 2009

241) 一側下肢支持立位における一側杖への上肢荷重量の変化が広背筋上部線維・下部線維、腹斜筋群、腰背筋群の筋電図積分値に及ぼす影響ー杖側下肢支持および非杖側下肢支持課題による検討ー

安井重男、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、貝尻 望、田尻恵乃、水上俊樹、

鈴木俊明

関西理学. 9 : 97-103. 2009

- 242) 腋窩神経不全麻痺回復後、肩関節屈曲保持に不安定性を認めた一症例  
—肩甲胸郭関節に着目して—  
永野敬祐、三浦雄一郎、福島秀晃、森原 徹、鈴木俊明  
関西理学. 9 : 169-174. 2009
- 243) 母指対立運動の運動イメージ方法の違いによる脊髄神経機能の興奮性の変化  
—F波による検討—  
鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、鬼形周恵子、谷 万喜子  
脊髄機能診断学. 31 : 60-64. 2009
- 244) 和歌山県スモン患者における座位、立位の前方移動能力とバランス能力、歩行機能との関係  
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之、米田浩久、紀平為子、吉益文夫  
平成 21 年度総括 分担研究報告書. 165-167. 2010
- 245) 運動器疾患を理解するための体幹筋の筋活動評価  
鈴木俊明、高崎恭輔、谷埜予士次、米田浩久、谷 万喜子、渡邊裕文、大沼俊博、三浦雄一郎  
臨床脳波. 52 : 437-436. 2010
- 246) 上肢ジストニア患者一症例に対する上肢運動機能定量化システムを用いた鍼治療効果検討  
井上博紀、谷 万喜子、鈴木俊明、吉田宗平  
関西医療大学紀要. 4 : 92-99. 2010
- 247) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージは対側脊髄神経機能を興奮させる  
鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、鬼形周恵子、浦上さゆり、谷 万喜子  
脊髄機能診断学. 32 : 101-105. 2010
- 248) 再考 理学療法基本技術  
鈴木俊明  
関西理学. 10 : 1-4. 2010
- 249) 上肢の関節可動域練習  
高崎恭輔、山口剛司、鈴木俊明、清水卓也

関西理学. 10 : 33-42. 2010

250) 介助歩行時における身体操作

魚住 心、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 10 : 43-49. 2010

251) 深く座る座位と浅く座る座位での靴・靴下着脱動作における姿勢戦略に関する研究

貝尻 望、赤松圭介、藤本将志、田尻恵乃、早田 荘、水上俊樹、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 10 : 51-56. 2010

252) 洗髪動作模倣課題遂行時における僧帽筋の筋活動について

一肘関節屈伸運動の速度変化による検討一

早田 荘、赤松圭介、藤本将志、田尻恵乃、水上俊樹、貝尻 望、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 10 : 57-62. 2010

253) 周期性の認識に基づく効率的な運動中に定期的に呈示される異なる刺激間隔が筋電図反応時間に及ぼす影響一刺激回数の増加と刺激間隔の相違による検討一

藤原 聡、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明、嶋田智明

関西理学. 10 : 71-76. 2010

254) 機器を用いた症例のまとめ方

鈴木俊明

大阪府理学療法士会誌. 39 : 27-32. 2011

255) 何をもって治ったとするか

鈴木俊明

関西理学. 11 : 1-3. 2011

256) 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側上肢機能について考える

鈴木俊明、鬼形周恵子、文野住文、谷 万喜子

関西理学. 11 : 13-19. 2011

257) 体幹前屈位時に腰部痛が生じる器械体操選手一トップダウン評価での機能障害抽



- 出が困難な症例に対して—  
高崎恭輔、鈴木俊明、清水卓也  
関西理学. 11 : 33-36. 2011
- 258) 聴覚刺激の刺激間隔の相違による予測の要因が筋電図反応時間に及ぼす影響  
高橋優基、藤原 聡、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明  
関西理学. 11 : 41-45. 2011
- 259) 端座位にて一側下肢挙上位を保持した肢位での側方への荷重量の変化が腹斜筋群の筋電図積分値に与える影響—入浴時の浴槽へのまたぎ動作を想定して—  
津江正樹、池田幸司、赤松圭介、藤本将志、貝尻 望、田尻恵乃、早田 荘、水上俊樹、大沼俊博、渡邊裕文、安井重男、鈴木俊明  
関西理学. 11 : 51-56. 2011
- 260) 片脚立位時の矢状面上における足圧中心位置の違いが股関節周囲筋の筋活動に与える影響  
木下拓真、高木綾一、鈴木俊明  
関西理学. 11 : 57-63. 2011
- 261) 結帯動作における肩甲骨周囲筋群の筋活動について  
高見武志、松田俊樹、三馬孝明、中道哲朗、鈴木俊明  
関西理学. 11 : 65-70. 2011
- 262) 一側上肢の随意運動が体側上肢の感覚機能に及ぼす影響—体性感覚誘発電位を用いた検討—  
山本吉則、鈴木裕介、辻本憲吾、嘉戸直樹、鈴木俊明  
関西理学. 11 : 77-82. 2011
- 263) 麻痺側肩甲帯と体幹に着目した理学療法により麻痺側手指の分離運動に改善を認めた脳梗塞後右片麻痺の一症例—表面筋電図を用いた理学療法効果の検討—  
大西真代、塚本枝里、鈴木裕介、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明  
関西理学. 11 : 131-138. 2011
- 264) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージ方法の違いが脊髄神経機能に与える影響—視覚の有無の関連性—  
鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、鬼形周恵子、谷 万喜子

脊髓機能診断学. 33 : 75-79. 2011

265) 立位での一側下肢への側方体重移動が内腹斜筋と腰背筋の筋活動に及ぼす影響

井上隆文、中道哲朗、三浦雄一郎、鈴木俊明

理療. 41 : 24-29. 2011

266) 端座位一側下肢挙上位での体幹屈曲角度の変化が体幹筋群の筋電図積分値に及ぼす影響

貝尻 望、赤松圭介、藤本将志、田尻恵乃、早田 荘、水上俊樹、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

The Journal of Clinical Physical Therapy. 14 : 75-80. 2011

267) 肩関節内旋、外旋における等尺性収縮時の肩甲骨周囲筋活動

井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明

理学療法科学. 27 : 141-146. 2012

268) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージ収縮速度が脊髓神経機能の興奮性に与える影響

文野住文、鈴木俊明

理学療法科学. 27 : 335-339. 2012

269) 腰痛症に対する伸縮性ベルトとプラスチック性支柱を用いた簡易作成式の機能的腰部装具の効果について

吉田隆紀、鈴木俊明、中塚映政、伊藤倫之

関西医療大学紀要. 6 : 147-153. 2012

270) 脳血管障害片麻痺患者における痙攣縮の脊髓運動神経機能に関する文献研究

山下 彰、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 6 : 102-108. 2012

271) 運動イメージが中枢神経機能と脊髓神経機能興奮性変化に与える影響に関する文献的研究

文野住文、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 6 : 97-101. 2012

272) 左立脚初期で左側方への転倒傾向を認めた右小脳出血患者の一症例—右立脚中期

- 以降の同側体幹筋の筋収縮の遅延に着目して—  
吉岡芳泰、米田裕久、高田 毅、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 6 : 123-132. 2012
- 273) 上肢運動に際した先行随伴性姿勢調整に関する文献的研究  
丸岡祥子、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 6 : 116-122. 2012
- 274) ラベンダーの香りと神経機能に関する文献的研究  
由留木裕子、鈴木俊明  
関西医療大学紀要. 6 : 109-115. 2012
- 275) F波を用いた運動イメージの効果検討  
鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷 万喜子  
生体応用計測. 3:11-20. 2012
- 276) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響—30%と 50%収縮強度運動イメージの効果比較—  
文野住文、鬼形周恵子、鈴木俊明  
理学療法科学. 27:711-715. 2012
- 277) 筋緊張検査における検査のポイント  
鈴木俊明、谷万喜子、浦上さゆり、文野住文、鬼形周恵子  
関西理学. 12:1-6. 2012
- 278) 感覚検査における臨床的観点からのひと工夫  
大沼俊博、藤本将志、赤松圭介、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 12:15-23. 2012
- 279) 上肢挙上時の運動側外腹斜筋による体幹安定化メカニズム  
三浦雄一郎、福島秀晃、森原徹、鈴木俊明  
関西理学. 12:29-34. 2012
- 280) Quadriceps Setting における理学療法士の介入方法が大腿四頭筋の筋活動に及ぼす影響—Unternal focus と External focus による検討—  
光田尚代、高木綾一、鈴木俊明

関西理学. 12:35-39. 2012

281) 麻痺側肘関節の屈曲運動による非麻痺側上腕部の洗体動作が困難であった脳梗塞後右肩麻痺患者への理学療法  
森井佑実、水上俊樹、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 12:53-59. 2012

282) 右遊脚終期から立脚中期での右股関節周囲筋群の筋緊張異常により右後方への不安定性を認めた脳梗塞後右肩麻痺の一症例  
奥村亮、塚本絵里、鈴木裕介、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明  
関西理学. 12:95-100. 2012

283) 円背姿勢が歩行開始時の円滑な体重移動を阻害し、独歩の実用性低下を認めた左大腿骨転子部骨折の一症例  
梶迫美沙子、光田尚代、高木綾一、鈴木俊明  
関西理学. 12:101-108. 2012

284) 短時間のリラックスイメージは脊髄神経機能の興奮性を低下させるか  
鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷万喜子、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、吉田隆紀、浦上さゆり  
脊髄機能診断学. 34:72-75.2012

285) パーキンソン病における運動イメージの効果検討—F波を用いた研究—  
鈴木俊明  
理学療法学. 39:126-127.2012

286) 筋緊張検査から考える「腹筋と背筋」  
鈴木俊明  
Sportsmedicine. 140:2-9. 2013

287) 和歌山県のスモン患者に対する運動療法の即時効果、厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調査研究  
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之  
平成 23 年度 総括・分担研究報告書. 183-186. 2012

288) 立位における上肢遠位関節運動時の予測的姿勢制御—足底圧中心による検討—

丸岡祥子、高木綾一、鈴木俊明  
理学療法科学. 28:31-34.2013

289) 足関節捻挫後のパフォーマンス低下に対する新しい治療戦略 —捻挫後に生じる機能的不安定性に対する経皮的電気刺激の効果について  
吉田隆紀、鈴木俊明  
Sportsmedicine. 149:28-30. 2013

290) 健常者におけるヒラメ筋の H 波, F 波出現様式  
山下彰、鈴木俊明、文野住文  
理学療法科学. 28:205-208. 2013

291) 手指反復運動の頻度が体性感覚誘発電位に及ぼす影響  
山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明  
理学療法科学. 28:257-260. 2013

292) 意識的には認識できない小さなリズムの変化が予測に基づく反応運動に及ぼす影響  
高橋優基、藤原聡、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明  
理学療法科学. 28:249-252. 2013

293) 脳血管障害片麻痺患者における下肢の H 波、F 波出現様式  
山下彰、鈴木俊明、文野住文  
理学療法科学. 28:563-567. 2013

294) 母指屈曲運動の動作イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響  
佐々木英文、文野住文、鈴木俊明、浦邊幸夫  
理学療法科学. 28:673-676. 2013

295) 経穴刺激理学療法の効果に関する基礎的検討—尺沢への抑制手技が母指球筋の F 波および自律神経機能に与える影響—  
鈴木俊明、米田浩久、谷埜予士次、高崎恭輔、谷万喜子、鬼形周恵子、吉田隆紀、文野佳文、浦上さゆり、若山育郎、吉田宗平  
理学療法科学. 40:136-137. 2013

296) ラベンダーの香りが上肢脊髄神経の興奮性に与える影響

- 由留木裕子、鈴木俊明  
理学療法学. 40:96-100. 2013
- 297) 単純な手指の対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に与える影響  
前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明  
理学療法学. 40:303-306. 2013
- 298) 上肢挙上不能な腱板広範囲断裂保存症例へのリハビリテーションアプローチへの検討  
大川真美、森原徹、福島秀晃、三浦雄一郎、鈴木俊明  
総合リハビリテーション. 41:863-867. 2013
- 299) 前腕肢位が肩関節外旋運動に与える影響  
三浦雄一郎、福島秀晃、森原徹、鈴木俊明  
総合リハビリテーション. 41:1037-1044. 2013
- 300) 肘関節肢位が肩関節外旋運動に及ぼす影響  
—超音波画像診断装置を用いた検討—  
早田荘、早田恵乃、小椋智美、三浦雄一郎、渡邊裕文、大沼俊博、鈴木俊明  
理学療法学. 28:731-734. 2013
- 301) 肩甲骨周囲筋における筋活動開始の順序性に関する研究  
井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明  
理学療法科学. 28:783-786. 2013
- 302) 運動イメージと脊髄神経機能  
鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷万喜子  
関西理学. 13:1-9. 2013
- 303) 体幹研究と理学療法  
大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、谷埜予士次、鈴木俊明  
関西理学. 13:11-22. 2013
- 304) 他動的文字識別における上肢脊髄神経機能の興奮性の変化  
弓永久哲、山田勝真、鈴木俊明  
関西理学. 13:59-64. 2013

- 305) 腹臥位での下肢空間保持が非空間保持側の僧帽筋下部線維の筋活動に与える影響  
池澤秀起、井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明  
関西理学. 13:65-71. 2013
- 306) パーキンソン病症例における側方体重移動時の体幹筋の筋活動パターンの検討  
大中礼香、野口翔平、増田蓉二郎、玉置昌孝、井上隆文、中道哲朗、鈴木俊明  
関西理学. 13:77-86. 2013
- 307) 体幹筋の筋緊張低下により座位にて転倒傾向を認めた脳梗塞後左片麻痺患者に対する理学療法  
二五田美沙、早田恵乃、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、田中祥子、鈴木俊明  
関西理学. 13:95-101. 2013
- 308) 洗濯物干し動作において右肩関節前面に疼痛を認めた右上腕骨近位部骨折後患者に対する理学療法  
楠貴光、早田荘、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 13:111-120. 2013
- 309) 麻痺側上肢での包丁操作において食材の切断が困難であった脳梗塞後右片麻痺患者に対する理学療法  
伊藤陸、貝尻望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、萩尾亜弥、鈴木俊明  
関西理学. 13:121-128. 2013
- 310) 右上肢による排泄後の清拭動作が困難であった腰部脊柱管狭窄症にともなう腰椎後方固定術後患者への理学療法  
松本明彦、津江正樹、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 13:126-136. 2013
- 311) 立位で中殿筋のトレーニングが歩行機能の改善を認めたスモン患者について、厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調査研究  
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之  
平成 24 年度 総括・分担研究報告書. 196-198. 2013
- 312) 立位時の体重側方移動と腹斜筋硬度の関係  
大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、鈴木俊明

生体応用計測. 4:49-53.2013

- 313) 捻挫後の機能的不安定性に対する経皮的電気刺激を加えたトレーニングの効果－  
片脚立位時の重心動揺計と筋電図を用いた検討－  
吉田隆紀、谷埜予士次、増田研一、鈴木俊明  
臨床スポーツ医学. 31:385-389.2014
- 314) スモンの運動機能の経年変化－2 症例での検討－  
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之  
平成 25 年度 総括・分担研究報告書. 179-181. 2014
- 315) 理学療法と鍼灸の融合とは何か－「経穴刺激理学療法」と評価の重要性  
鈴木俊明  
Sportsmedicine. 161:2-4. 2014
- 316) 理学療法と鍼灸に関する研究から－鍼刺激と筋機能、経穴刺激と運動－  
鈴木俊明、谷万喜子、田中健一、高橋護、生田啓記  
Sportsmedicine. 161:5-15. 2014
- 317) 足関節捻挫後の機能的不安定性に対する電気療法の効果－不安定板上の運動時に  
電気療法を付加するトレーニング法の検討－  
吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明  
理学療法学. 29:417-420.2014
- 318) 端座位での側方体重移動時における移動側中殿筋・大腿筋膜張筋・大殿筋上部線  
維の筋電図積分値  
池田幸司、大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、鈴木俊明  
理学療法学. 29:421-424.2014
- 319) 座位での側方への体重移動における腹斜筋群の筋活動の特徴  
渡邊裕文、大沼俊博、高崎恭輔、谷埜予士次、鈴木俊明  
理学療法科学. 29:561-564.2014
- 320) アロマテラピーが上肢での脊髄神経機能の興奮性に与える影響について  
由留木裕子、鈴木俊明、文野住文、岩月宏泰  
臨床神経生理学. 42:87-99.2014



- 321) 膝伸展課題直後のハムストリングスの筋活動と膝屈曲トルク  
吉岡芳泰、谷埜予士次、鈴木俊明  
理学療法科学. 29:555-559.2014
- 322) 意識的には認識できない小さなリズムの変化が予測に基づく反応時間に及ぼす影響—基本間隔を延長したパターンによる検討—  
高橋優基、藤原聡、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明  
理学療法学. 41:306-311.2014
- 323) 立位での踵部および前足部荷重における腹斜筋群、多裂筋の筋活動について  
大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、谷埜予士次、鈴木俊明  
ボバースジャーナル. 37:2-5.2014
- 324) 全習法と異なる二種の分習法での運動学習効果の検討—単位時間軌跡長による検討—  
米田浩久、鈴木俊明  
理学療法科学. 29:809-813.2014
- 325) 立位時の体重側方移動が腰背筋の筋機能に与える影響—組織硬度計を用いた検討—  
大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
生体応用計測. 5:63-67.2014
- 326) 筋緊張異常に対するアプローチ  
鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷万喜子、米田浩久  
関西理学. 14:27-31.2014
- 327) 立位での膝関節屈曲位保持課題が膝蓋骨の前額面上回旋角度変化に及ぼす影響  
橋谷裕太郎、早田荘、赤松圭介、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、野口克己、久保恭臣、鈴木俊明  
関西理学. 14:37-41.2014
- 328) 立位での前足部荷重における多裂筋・最長筋・腸肋筋の筋活動について  
國枝秀樹、末廣健児、大沼俊博、渡邊裕文、石濱崇史、鈴木俊明  
関西理学. 14:43-47.2014

- 329) 聴覚刺激のリズムの変化率の違いがリズムカルな反応運動に及ぼす影響  
高橋優基、藤原聡、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明  
関西理学. 14:49-58.2014
- 330) 歩行の右立脚中期から後期に骨盤の過度な右側方移動が生じることで歩行動作の  
安全性・安定性低下を認めた小脳梗塞後患者の理学療法  
辻智美、石橋佑実、貝尻望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 14:59-65.2014
- 331) 立ち上がり動作時に左麻痺側後方への転倒の危険性を認めた右被殻出血後左片麻  
痺患者の理学療法  
小松菜生子、橋谷裕太郎、早田恵乃、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 14:67-76.2014
- 332) 立ち上がり動作時に右後方への転倒傾向を認めた第 6 頸髄不全損傷四肢麻痺患者  
の理学療法  
刀坂太、早田荘、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 14:83-89.2014
- 333) 第 2 腰椎圧迫骨折および腸閉塞外科術後に起き上がり動作が困難となった症例の  
理学療法  
水口真希、高森絵斗、早田荘、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 14:91-101.2014
- 334) ホールドリラックスを利用したリラックスイメージが脊髄神経機能の興奮性に与  
える影響—F 波を用いた研究—  
松井滉平、網本怜子、刀坂太、文野住文、鈴木俊明  
理学療法科学. 29:979-982.2014
- 335) 座位での側方リーチ動作における圧中心 (COP) の変位と内腹斜筋の筋活動につ  
いて  
渡邊裕文、大沼俊博、池田幸治、末廣健児、石濱崇史、國枝秀樹、池田匠、鈴木俊明  
ボバースジャーナル. 37:124-128.2014
- 336) 複雑性の異なる手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼ

す影響

前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明

臨床神経生理学. 43:10-13.2015

337) 痙縮の病態生理と電気生理学的評価

鈴木俊明

MB Med Reha. 180:23-28.2015

338) 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側筋緊張亢進の要因は誘発筋電図により解明できる

鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、吉田隆紀、鬼形周恵子、文野住文、谷万喜子、若山育郎、吉田宗平

理学療法学. 42:176-177.2015

339) 運動イメージの具体的方法の個人差に関する一考察

東藤真理奈、文野住文、米田浩久、鈴木俊明

理学療法科学. 30:405-407.2015

340) 脳血管障害片麻痺患者の痙縮のリハビリテーション評価としての F 波、H 波の応用

鈴木俊明

The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 52:335-339.2015

341) 随意運動能力の回復にともない F 波波形の変化も改善する

鈴木俊明、文野住文、谷 万喜子、鬼形周恵子、米田浩久、東藤真理奈、浦上さゆり、若山育郎、吉田宗平

脊髄機能診断学 36 : 59-62.2015

342) 前腕筋群の疲労に対する末梢神経電気療法の効果—グリップ動作課題における握力と筋電図積分値を用いた検討—

吉田隆紀、鈴木俊明、増田研一

日本臨床スポーツ医学会誌. 23:552-559.2015

343) 腹臥位での下肢空間保持が非空間保持側の僧帽筋下部線維の筋活動に与える影響—肩関節外転角度の変化に着目して—

池澤秀起、高木綾一、鈴木俊明

理学療法科学. 30 : 261-264.2015

- 344) 運動イメージの具体的方法の個人差に関する一考察  
東藤真理奈、文野住文、米田浩久、鈴木俊明  
理学療法科学. 30:405-407.2015
- 345) 麻痺側母指球筋に筋緊張亢進を呈した脳血管障害片麻痺患者に対する尺沢への経  
穴刺激理学療法の効果—抑制テクニックにおけるF波の変化—  
高森絵斗、水口真希、早田恵乃、渡邊裕文、文野住文、鈴木俊明  
理学療法科学. 30:939-943.2015
- 346) ラベンダーの吸入が脊髄神経運動ニューロンに与える影響  
由留木裕子、岩月宏泰、鈴木俊明  
臨床神経生理学. 43:111-120.2015
- 347) 基本動作を考える—臨床で必ず観察する基本動作—  
鈴木俊明、谷万喜子、文野住文  
関西理学療法. 15:1-2.2015
- 348) 片脚立位—足部機能の検討—  
中道哲朗、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:17-21.2015
- 349) 筋力低下の部位の違いによる肩関節最大等尺性収縮時の筋活動変化 —開始肢位  
からの変化量に着目して—  
井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:33-37.2015
- 350) 一側肩関節屈曲位保持課題における肩関節屈曲角度変化が両側最長筋、多裂筋、  
腸肋筋の筋電図積分値に及ぼす影響について  
早田荘、楠貴光、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:39-44.2015
- 351) 肩関節水平屈曲角度変化が大胸筋の筋電図積分値相対値に及ぼす影響  
楠貴光、早田荘、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:45-48.2015

- 352) 立位でのステップ肢位保持における支持側股関節外旋角度変化が支持側大殿筋上部線維と下部線維の筋電図積分値に及ぼす影響  
伊藤陸、貝尻望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:49-52.2015
- 353) 背臥位と直立位の肢位変化が内腹斜筋横方向線維の硬度に与える影響 - 組織硬度計を用いた検討 -  
大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:53-56.2015
- 354) 立位での一側下肢への側方体重移動が多裂筋・腸筋・最長筋の筋活動パターンに与える影響について  
野口翔平、玉置昌孝、井上隆文、中道哲朗、藤本将志、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:61-65.2015
- 355) 運動イメージ方法の違いによる脊髄神経機能の興奮性変化-複合イメージと単独イメージによる比較—  
東藤真理奈、文野住文、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:75-78.2015
- 356) 太白への鍼刺激が膝関節伸展運動時における大腿四頭筋の筋機能に与える影響—異なる鍼刺激および運動回数による検討—  
生田啓記、谷 万喜子、峯山華、高橋護、田中健一、井尻朋人、鈴木俊明  
関西理学療法.15:85-91.2015
- 357) 食事動作における左麻痺側手でのお椀把持動作に実用性低下を認めた脳梗塞後左片麻痺患者の理学療法  
上田透、楠貴光、早田恵乃、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:93-99.2015
- 358) 両手での洗顔動作が困難であった脳梗塞後右片麻痺患者に対する理学療法  
西谷源基、橋谷裕太郎、早田荘、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:107-115.2015
- 359) 体幹屈曲、左非麻痺側回旋および左非麻痺側肩関節水平屈曲が不十分なことで起き上がり動作が困難であった脳出血後右片麻痺患者の理学療法

田中大志、高森絵斗、早田荘、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:117-125.2015

360) 立位保持時に後方への転倒傾向が生じトイレ動作の実用性が低下した右視床出血  
後左片麻痺患者の理学療法  
木田知宏、伊藤陸、貝尻望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学療法. 15:135-141.2015

361) 非周期的な手指反復運動が短潜時体性感覚誘発電位に及ぼす影響  
山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明  
臨床神経生理学. 43:65-69.2015

362) 両側中殿筋の筋緊張低下を認めたスモン患者 1 症例—片脚立位動作と歩行用知己  
の関連性—、厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調  
査研究  
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之  
平成 26 年度 総括・分担研究報告書. 187-189. 2015

363) 膝関節屈曲角度の変化に伴う膝関節伸展等尺性収縮時の大腿四頭筋における筋活  
動変化  
生田啓記、井尻朋人、鈴木俊明  
理学療法科学. 31:7-11.2016

364) 異なる筋収縮強度を用いた母指対立運動イメージが脊髄運動神経の興奮性と自律  
神経活動に及ぼす影響  
文野住文、鈴木俊明、岩月宏泰  
理学療法科学. 31:117-125.2016

365) アキレス腱付着部への集毛鍼刺激がヒラメ筋の H 波に与える影響—2 分間での検  
討—  
高橋譲、谷万喜子、鈴木俊明  
日本東洋医学雑誌. 67:22-27.2016

366) 外反母趾症状を有する女子学生の歩行時の特徴—健常若年女性との比較—  
吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明、増田研一  
理学療法. 33:469-475.2016

- 367) 太白穴への鍼刺激が膝関節伸展運動時における大腿四頭筋の筋機能に与える影響  
—公孫穴との比較—  
生田啓記、谷万喜子、鈴木俊明  
日本東洋医学雑誌. 67:257-263.2016
- 368) 動作解釈の方法  
鈴木俊明、谷万喜子、文野住文  
関西理学. 16 : 1-2. 2016
- 369) 運動イメージが脊髄運動神経の興奮性および自律神経活動に及ぼす影響  
文野住文、鈴木俊明、岩月宏泰  
関西理学. 16 : 31-36. 2016
- 370) 端座位での前方リーチ肢位保持における大殿筋および内側・外側ハムストリングスの筋活動  
木津彰斗、末廣健児、國枝秀樹、石濱崇史、池田幸司、鈴木俊明  
関西理学. 16 : 43-47. 2016
- 371) 母指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性と運動の正確性に与える影響—30%MVCによる検討—  
今奈良有、福本悠樹、文野住文、鈴木俊明  
関西理学. 16 : 49-54. 2016
- 372) 手のメンタルローテーション課題が上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響—反応時間の違いによる検討—  
野村真、嘉戸直樹、鈴木俊明  
関西理学. 16 : 63-67. 2016
- 373) 健常者における異なる筋収縮速度での随意運動時の F 波—F 波波形の種類での検討—  
小松菜生子、武風沙、高森絵斗、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
関西理学. 16 : 69-77. 2016
- 374) 日本舞踊における右下肢の後方ステップ動作時に転倒の危険性が生じた脳梗塞後右片麻痺患者の理学療法

武風沙、小松菜生子、橋谷裕太郎、早田恵乃、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 16 : 79-86. 2016

375) いざり動作練習により座位での浴槽跨ぎ動作の実用性が向上した頸髄症の一症例  
—左上肢支持を用いた自立を目指して—

川崎由希、光田尚代、鈴木俊明

関西理学. 16 : 87-93. 2016

376) 立位で重量物を保持し、前方の台上へのせる動作に安定性低下を認めた変形性脊椎症の合併症を有する頸椎症性脊髄症に対する理学療法

山内陽介、山田真希、高森絵斗、早田荘、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 16 : 95-100. 2016

377) 歩行において右股関節屈曲位が継続することで右遊脚が困難であった脳出血後右片麻痺患者の理学療法

淵本恵、辻智美、貝尻望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 16 : 101-107. 2016

378) 歩行の左立脚期に膝関節外反が増大し安定性低下を認めた左脛骨・腓骨近位部骨折後患者の理学療法

森川智貴、楠貴光、早田恵乃、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 16 : 109-115. 2016

379) 外反母趾用靴下における介入効果の検証

吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明、増田研一

理学療法科学. 31 : 857-863. 2016

380) 運動イメージ効果を認めなかった F 波の波形の種類は増加することがある

鈴木俊明、文野住文、谷万喜子、鬼形周恵子、東藤真理奈、福本悠樹、浦上さゆり、吉田宗平

脊髄機能診断学. 37 : 39-42. 2016

381) 10%収縮強度運動イメージが脊髄運動神経の興奮性に与える影響—運動イメージ時の自覚的筋収縮強度を考慮して—

文野住文、鬼形周恵子、東藤真理奈、福本悠樹、鈴木俊明



物理療法科学. 23 : 15-19. 2016

- 382) スモン患者の歩行能力改善には下腿三頭筋の筋力トレーニングが必要である、厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調査研究  
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之  
平成 27 年度 総括・分担研究報告書. 204-207. 2016
- 383) 運動イメージの明瞭性の個人差が脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響  
野村真、前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明  
理学療法科学. 32 : 195-199. 2017
- 384) 座位での股関節内旋・外旋角度変化が大殿筋上部線維、中殿筋前部線維、大腿筋膜張筋の筋電図積分値に及ぼす影響  
伊藤陸、早田荘、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明  
理学療法科学. 32 : 443-447. 2017
- 385) 太白穴への鍼刺激が膝関節伸展運動時における大腿四頭筋の筋機能に与える影響  
生田啓記、谷万喜子、鈴木俊明  
日本アスレティックトレーニング学. 2 : 117-123. 2017
- 386) 地域在住高齢者の後方転倒と転倒リスク評価に関する横断研究  
福田圭志、中村英美、光田尚代、井尻朋人、鈴木俊明  
日本転倒予防学会誌. 4 : 53-59. 2017
- 387) 立位での一側下肢への側方体重移動が腰背筋群・足部周囲筋の筋活動パターンに与える影響  
野口翔平、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明  
Jpn J Rehabil Med. 54 : 618-626